

データ・シート GigaVUE-FM



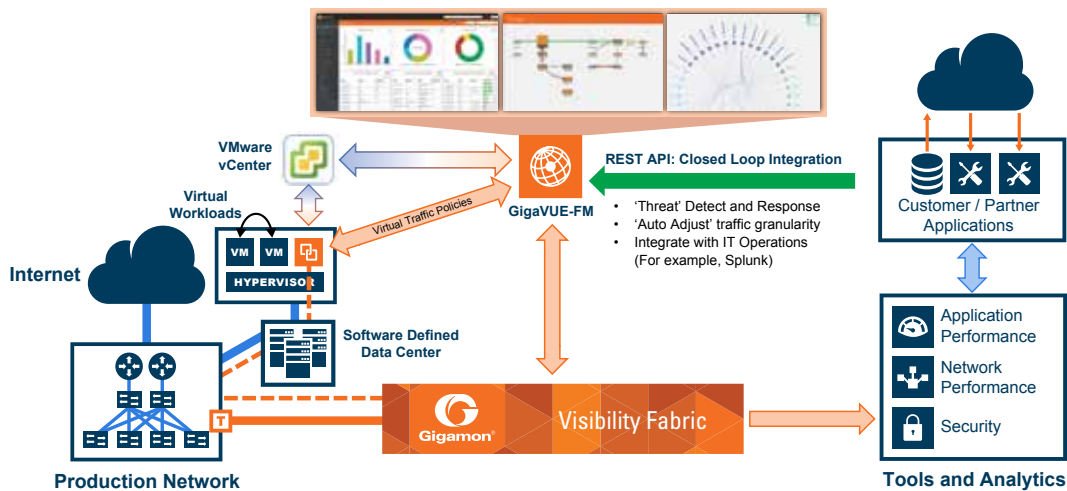
仮想またはハードウェア・アプライアンスとして使用

製品説明

Gigamon® ビジビリティ・ファブリックは企業、データ・センター、サービス・プロバイダーの環境に広範なアクティブ・ビジビリティを提供し、セキュリティ、ネットワーク、アプリケーション性能の分析および管理を可能にします。

GigaVUE-FM はビジビリティ・ファブリックのすべての物理および仮想ノードを1つのペインで表示し、同時に、特許を取得したFlow Mapping® とGigaSMART® トラフィック・ポリシーの構成に使いやすいウィザードベースのアプローチを提供します。エンドツーエンドのトポロジ可視化、概要を示すダッシュボードを使用すれば、トラフィック・オーバーレイ、ノードのステータス、イベント、ポート、トラフィック使用の例外への迅速なアクセス機能によって、ホット・スポットを確認しプロアクティブに特定できます。

GigaVUE-FM の1つのインスタンスで、複数の場所やデータ・センターの数百の物理およびビジビリティ・ファブリック・ノードを管



GigaVUE-FMによるGigamon統合ビジビリティ・ファブリックの管理

理できます。階層化された従量制のライセンスにより、顧客はGigaVUE-FM によってGigamon ビジビリティ・ファブリックの難易度、範囲、実稼働ネットワークへの密接度に比例して、管理機能を拡張することができます。

GigaVUE-FM はVMware ESX、Microsoft Hyper-V、およびKVM ハイパーバイザ用のソフトウェア専用仮想アプライアンスとして、あるいは管理用のターンキー・ソリューションを求めている顧客や、ビジビリティ・ファブリックの範囲や規模によって、管理のための専用コンピュート・キャパシティが必要な場合のためのハードウェア・アプライアンスとして使用できます。GigaVUE-FM ソフトウェア専用オプションは、シングルノード管理用には無料で提供されており、マルチノード管理やその他の高度な機能を試したい場合には、45 日間のトライアル利用も可能です。

IT インフラストラクチャにおけるアジリティと自動化に対するニーズの増加や、ネットワーク・トラフィックで変化を続ける脅威パターンにより、この種の脅威を自動的に検出、対応および対処しながら、IT 運用管理にビジビリティを統合することも不可欠になっています。GigaVUE-FM では、REST API を使用したプログラミング可能なインターフェースのサポートにより、ビジビリティ・ファブリックのプロビジョニングとオーケストレーションを行うことで、ソフトウェア定義のビジビリティを実現しています。API は以下のために、トラフィック監視ツール（セキュリティ、NPM、APM）、IT 運用管理、SDN コントローラで使用することができます。

- トラフィック・ポリシーのプログラミング、たとえば新しい脅威パターンへの対応によるクローズド・ループ監視、SSL 復号化、NetFlow の生成、マルウェア検出時のインライン・モードでのトラフィックのドロップ
- キャパシティ・プランニングまたはCMDB 分析に使用するために、ビジビリティ・ファブリックのインベントリ情報を検出および収集
- トラフィックの転送に基づき、ビジビリティ・ファブリック内のトラフィック・フローを更新

表1:機能と利点

GigaVUE-FM 機能/アプリケーション	メリット
一元化された管理と制御	ビジビリティ・ファブリックの物理および仮想トラフィック・ポリシーを一元的に管理、監視、構成できるため、管理者はネットワーク・トラフィックをツールと分析インフラストラクチャにマップピングして転送できます。
トラフィック・ポリシー・オーバーレイによるエンドツーエンドのトポロジ表示	ビジビリティ・ファブリック・ノード間でエッジからコアへの接続性をエンドツーエンドに可視化、接続された実稼働ネットワーク・スイッチのインポートと表示、事前定義済みのセキュリティと監視ツール、インGRESS・ネットワーク・ポートからエGRESS・ツール・ポートまでのオーバーレイ・トラフィック・ポリシー。
プログラミング可能な API によるソフトウェア定義の可視化	以下を目的として、トラフィック監視または IT 運用管理用ツールで RESTful API を使用： <ul style="list-style-type: none"> • セキュリティの脅威を検出した場合に、ビジビリティ・ファブリック・フロー・マップのプログラミングを行う • ビジビリティ・ファブリック・ノードを検出し、インベントリとステータスに関する情報を収集
ファブリック全体のレポート機能	ダッシュボードの要約とカスタマイズによる、インベントリ、ノード/クラスタ・ステータス、イベント、監査証跡、マップ使用率上位 N 位と下位 N 位を表示し、html/PDF レポートのエクスポートとスケジュール設定のオプションでオフライン表示に対応
高度な監視	ビジビリティ・ファブリックのホット・スポットをプロアクティブに監視し、トラブルシューティングを実行： <ul style="list-style-type: none"> • ダッシュボードで、ネットワーク/ツールのポートとマップの使用率上位 N 位と下位 N 位のウィジェットを表示 • ネットワークとポートの運用ステータスに基づき、問題のあるトラフィック・ポリシーを識別 • 柔軟な検索により、ホット・スポット（ポート、トラフィック・ポリシー、VM、IP、MAC など）をすぐにトラブルシューティング • ユーザー操作の監査証跡によって企業のセキュリティ・コンプライアンスを確保 • ポートとトラフィックのメトリクスをリアルタイムで可視化 • ポートとトラフィック・ポリシーの過去のトレンド分析（1 時間、1 日、1 週間、1 か月） • ビジビリティ・ファブリックの詳細（ノード、ポート、トラフィック・ポリシー）に簡単にアクセスできるクイック・ビュー
Splunk の統合—Splunk 用の Gigamon ビジビリティ・アプリケーション	ビジビリティ・ファブリックのインベントリ、状態、ポート、およびトラフィックに関するインサイトを Splunk Enterprise に統合 <ul style="list-style-type: none"> • Splunk App Store (splunkbase) から無料で提供されているこのアプリケーションでは、Gigamon のソフトウェア定義ビジビリティに対応した REST API を使用して、GigaVUE-FM から定期的に情報を収集し、Splunk ダッシュボード内にデータを表示 • セキュリティまたはネットワーク運用センターの管理者は、複数のアプリケーションにホップしなくても、すべて Splunk ダッシュボード内で、アラートをビジビリティ・ファブリックのトラフィックに関連付け、MTTR を短縮可能
FabricVUE トラフィック・アナライザー	ネットワーク・トラフィックをファブリック中心で可視化し、IT 管理者が第 1 レベルのダッシュボードとして GigaVUE-FM を使用して、最上位の通信、アプリケーション、エンド・ポイント、プロトコルを識別できるようにする。 GigaVUE® ファブリック・ノードの NetFlow/IPFIX レコードを使用して、以下を目的としたネットワーク・トラフィックの収集と分析を行う： <ul style="list-style-type: none"> • 監視アプライアンスから除外するためのフィルタリング • 監視アプライアンスに転送する必要のある新しいトラフィックのホット・スポットを特定
スケジューリング機能：	<ul style="list-style-type: none"> • 1 つまたは多数のファブリック・ノードにバージョンの更新を自動で実行し、ソフトウェアの導入を簡略化 • ファブリック・ノードの構成バックアップをスケジューリングすることで、間違っただけの変更をしてしまった場合でも、顧客が正しいベースラインに復元できるようにする
バックアップと復元機能	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のビジビリティ・ノードにわたるバックアップと復元をサポートし、エラーや変更管理要件によって必要が生じた場合に迅速な変更の取り消しが可能 • GigaVUE-FM 構成 DB のバックアップと復元によって、GigaVUE-FM アプライアンスを既知の構成に置き換える、または復元することができる

以下は仮想アプライアンス、GigaVUE-FMを導入するハードウェアの最小要件です。

表2: ソフトウェア・エディションのハイパーバイザ要件

要件	説明
ハイパーバイザ	<ul style="list-style-type: none"> VMware vSphere 5.0以上 Microsoft Hyper-V (Windows Server 2008 R2 SP1以降、2012 R2以降) KVMハイパーバイザ
CPU	<ul style="list-style-type: none"> 1つまたは複数の64ビットx86 CPU (仮想化支援機能Intel-VTまたはAMD-V対応)
RAM	<ul style="list-style-type: none"> 8Gb以上
ディスク・スペース	<ul style="list-style-type: none"> 共有またはローカルに接続されたストレージ
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 1つ以上のNIC (1Gbps)

次の表では、ハイパーバイザから各GigaVUE-FMインスタンスに提供される仮想コンピューティング・リソースを示しています。規模や機能を拡大する場合は、追加のコンピューティング・リソースが必要になる場合があります。詳細はユーザー・ガイドとリリース・ノートを参照してください。

表3: GigaVUE-FMソフトウェア・エディションの仮想コンピューティング要件

要件	説明
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 4Gb以上のメモリ (FabricVUEトラフィック・アナライザーを使用する場合は、16Gb以上)
仮想CPU (vCPU)	<ul style="list-style-type: none"> 1 (FabricVUEトラフィック・アナライザーを使用する場合は4つ以上のvCPU)
OS用仮想ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> Virtual IDEの使用で60Gb (FabricVUEトラフィック・アナライザーを使用する場合は、100Gb以上)
仮想ネットワーク・インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> 1 x vNIC

表4: FabricVUEトラフィック・アナライザーのコンピューティング要件とサポート制限

	仮想アプライアンス			ハードウェア・アプライアンス		
	4 x vCPU	8 x vCPU	12 x vCPU	12 x vCPU (デュアル6コア)		
CPU	4 x vCPU	8 x vCPU	12 x vCPU	12 x vCPU (デュアル6コア)		
RAM	16Gb	32Gb	64Gb	16Gb	32Gb	64Gb
フロー/秒 (FPS)	4K	8K	15K	5K	10K	20K

GigaVUE-FMハードウェア・アプライアンス製品仕様

表5: 仕様

機能	説明
ラック・マウント	<ul style="list-style-type: none"> シングル・ラック・ユニット (1RU) 四角い穴、またはネジ穴のない丸穴付きの4本の柱があるラックに、ツールなしで取り付け可能 ネジ穴付きの4本の柱があるラックには、ツールを使って取り付け可能 ケーブル収納用アーム
寸法	<ul style="list-style-type: none"> 高さ: 1.68インチ (42.8mm) 幅: 18.99インチ (482.4mm) 奥行き: 23.9インチ (607mm)
重量	<ul style="list-style-type: none"> 19.9kg (43.87ポンド)
オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none"> GigaVUE-FM OS (Gigamonアプライアンス用に強化されたLinux)
プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> Dual Intel Xeon E5-2603 v3 1.6GHz、15Mキャッシュ、6C/6T
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 16GB RAM (384GB RAMまで拡張可能)
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> OS: 2 x 120GB SSD SATA Boot MLC 6Gb 2.5インチのホットプラグ・ドライブ (RAID1) データ: 2 x 1TB 7.2K RPM Self-Encrypting NLSAS 6Gb 2.5インチのホットプラグ・ハード・ドライブ、FIPS140-2 (RAID1)
システム管理	<ul style="list-style-type: none"> IPMI 2.0に準拠 専用の10/100/1000 BaseTネットワーク接続機能を搭載したiDRAC8 Enterprise
アプライアンス管理	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000 BaseT LAN シリアル・コンソール (115,200ボー)
電源	<ul style="list-style-type: none"> ホットプラグのデュアル冗長電源 (1+1) 550W (Platinum) AC (100-240V、50/60Hz、7.4A-3.7A)
熱損失	<ul style="list-style-type: none"> 2107BTU/時
温度	<ul style="list-style-type: none"> 動作時: 10~35°C (50~95° F) 保管時: -40~65°C (-40~149° F)
最大高度	<ul style="list-style-type: none"> 動作時: 3048m (10,000フィート) 保管時: 12,000m (39,370フィート)
コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> 背面 <ul style="list-style-type: none"> 4 x 10/100/1000Mbps LOM 1 x 10/100/1000Mbps iDRAC8 Enterprise 1 x DB9シリアル 1 x USB 3.0、1 x USB 2.0 1 x DB15 VGA 前面 <ul style="list-style-type: none"> 2 x USB 2.0 (BIOSで無効化) 1 x DB15 VGA

表6: コンプライアンス

タイプ	説明
安全	IEC 60950-1 IT機器、EN 60950-1 IT機器
エミッション	FCC Part 15クラスA、EN55022/CISPR-22クラスA、CISPR 24、ロシアGOST、CEマークEN 5502クラスA、Industry Canada ICES-003クラスA、EN 55024、韓国KCC、中国CCC
環境	RoHS指令2011/65/EU、WEE、Global ENERGY STAR 2.0、北欧NEMKO、REACH指令、中国CECP

完全なコンプライアンス・リストについては、Gigamonにお問い合わせください。

サポートとサービス

Gigamonは、幅広いサポートと保守サービスを提供しています。Gigamonの限定保証と製品サポート、ソフトウェア保守プログラムについては、以下をご覧ください。 www.gigamon.com/support-and-services/overview-and-benefits

注文情報

表7: GigaVUE-FM

型番	説明
GFM-FM001	1つの物理的なビジビリティ・ファブリック・ノードを管理する、無料のGigaVUE-FMエディション
GFM-FM005	最大5つのGigaVUE物理ノードに対応する、GigaVUE-FM 5パック・ソフトウェア・エディション
GFM-FM010	最大10つのGigaVUE物理ノードに対応する、GigaVUE-FM 10パック・ソフトウェア・エディション
GFM-FM000	アドオン機能を含み、最大200のGigaVUE物理ノードに対応する、GigaVUE-FMプライム・ソフトウェア・エディション
GFM-UPG-510	5パックから10パックのソフトウェア・エディションへのGigaVUE-FMのアップグレード
GFM-UPG-5P	5パックからプライム・ソフトウェア・エディションへのGigaVUE-FMのアップグレード
GFM-HW0-FM010	最大10の物理的なビジビリティ・ファブリック・ノードを管理する、GigaVUE-FMハードウェア・アプライアンス
GFM-UPG-10P	10パックからプライム・エディション（ソフトウェアとハードウェア・アプライアンス）へのGigaVUE-FMのアップグレード
GFM-FM-FTA	GigaVUE-FMに、FabricVUEトラフィック・アナライザー機能を追加したもの

詳細情報

Gigamon統合ビジビリティ・ファブリックの詳細や、最寄の代理店へのお問い合わせについては、以下をご覧ください。

www.gigamon.com